

● 「小さな労働者」を読んで、フォトストーリーという表現方法がどのようにして生まれたかについて調べ、表現方法の効果について考えよう。

○写真と文章を組み合わせた表現方法である「フォトストーリー」を生み出した人は誰だれですか。

- ☛ 「フォトストーリー」と書いてあるところを探して、その前後の部分を読んでみよう。
- ☛ P 78 下 L 38 からの段落、P 77 下 L 2 からの二つの段落などをよく読もう。

▽名前

▽職業

○「フォトストーリー」の生みの親は、自分のフォトストーリーをどんな目的で作ったのですか。

- ☛ 「望む」「願ひ」「〜たいという思い」「もし〜ならば〜にちがいない」など、ハインの気持ちや考えが分かる表現を手がかりにしよう。

《自分の考え》

《交流後の考え》

○「フォトストーリー」という表現方法は、その表現方法を生み出したハインの目的にぴったりの表現方法でした。「フォトストーリー」という表現方法にどのような効果があるのか教材文を読んだり自分で考えたりして書き出してみよう。

《自分の考え》

《交流後の考え》

●読み手に考えさせる文章がかかるかどうか試してみよう。  
○A～Dの写真から一枚を選び、「目に見えない大切なもの」というテーマと関連付けて考えたことを書きましょう。ただし、次の【条件】に合わせて書きましょう。

【条件】

- 1 選んだ写真の記号を解答らんのかくすに記入すること。
- 2 前半には選んだ写真に写っているものについて説明する文章を書き、後半に、「目に見えない大切なもの」というテーマと関連付けて、読み手に考えさせたいことを書くこと。
- 3 読み手に考えさせるように表現を工夫して書くこと。

A



B



C



D



●読み手に考えさせる文章が書けたかどうか、確かめよう。  
○お互いに読み合い、「考えさせられたこと」を伝え合いましょう。  
○自分がねらっていたことを相手に考えさせられたかどうか振り返り、気が付いたことを左のわくの中に書きましょう。

選んだ写真



「目に見えない大切なもの」

Four vertical dashed lines for writing the title.

Five horizontal dashed lines for writing the text.